

2026 年 9 月 25 日

各位

株式会社 りそなホールディングス

法人向けバンキングアプリの地域金融機関への提供について ～十六銀行・北洋銀行との共同開発に着手～

株式会社りそなホールディングス(社長 南 昌宏)は、株式会社十六銀行(頭取 種村 京平)および株式会社北洋銀行(頭取 津山 博恒)との間で、それぞれ法人向けバンキングアプリの提供に向けた「開発着手に関する基本合意書」を本日締結しました。法人向けバンキングアプリを両行と共同で開発し、十六銀行では 2027 年 9 月に、北洋銀行では 2027 年 10 月にサービス開始を予定しています。なお、りそなグループの法人向けバンキングアプリを地域金融機関向けに提供するのは、今回が初めてです。

➤ 企業経営者の業務効率化をサポートする法人向けバンキングアプリを地域金融機関へ提供します

多くの中小企業経営者や個人事業主の経営高度化をサポートすべく、「りそなグループアプリ for ビジネス^{注1}」で培った優れた UI ^{注2}/UX ^{注3}やデジタルマーケティングのノウハウを活用した法人向けバンキングアプリを地域金融機関と共同で開発します。法人のお客さまの利便性向上や業務効率化を実現し、経営者が本来注力すべき事業運営や成長戦略に集中できる環境づくりと、企業の持続的な成長を後押しします。

注1 2023 年 10 月 4 日「りそなグループアプリ for ビジネス」の取扱開始について|ニュースリリース|りそなホールディングス

注2 ユーザーインターフェースの略で、利用者と製品やサービスの接点

注3 ユーザーエクスペリエンスの略で、利用者が一つの製品やサービスから得られる体験

➤ 共通基盤の活用により、開発負担を抑えながらアプリを迅速に導入できます

地域金融機関は、個別開発に伴うコストを抑えながら、「りそなグループアプリ for ビジネス」が有する優れたデザインやシンプルな操作性を最大限活かしたバンキングアプリを導入できます。また、両行のお客さまは、日々の資金管理や振込などの業務を、場所を問わず、簡単・便利にスマートフォンで完結できます。

➤ 複数の金融機関参画による開発の効率化を通じて、持続的な価値創出を実現します

りそなグループは、金融デジタルプラットフォームの展開を通じて、様々なサービスを地域金融機関などに提供しています^{注4}。参画金融機関は、共同開発による機能改善や新機能の追加などの成果を共有しながら、お客さまへの提供価値を継続的に高めることが可能となります。今後も共創の輪を広げながら、地域金融機関とそのお客さまの持続的な成長に貢献します。

注4 りそなホールディングス連結子会社の FinBASE 株式会社(社長 新橋 祐輔)を通じて、りそなグループや革新的なテクノロジーを有する企業が持つ優れたサービスと利用企業を繋ぐ金融デジタルプラットフォームを展開、オープン・イノベーションを促進している。

画面イメージ



以上